

日本手毬展

展覽期間：2011 年 10 月 17 日 至 20 日

17 日 (13:00 ~ 17:00)

18・19 日 (9:00 ~ 17:00)

20 日 (9:00 ~ 11:30)

展覽會場：財團法人交流協會

台北事務所文化廳

主辦單位：NPO 法人日本手毬文化振興協會

協辦單位：財團法人交流協會

日本のてまり展・台湾（台北）

会期：2011 年 10 月 17 日～20 日

会場：財団法人 交流協会（台北事務所文化ホール）

後援：財団法人 交流協会

主催：NPO 法人 日本てまり文化振興協会

「日本手毬展」

NPO法人日本手毬文化振興協會

理事長 山東昭子 (前參議院副議長)

台灣的朋友們，大家好。

日本發生東日本大震災，台灣給予巨額的援助金及物資，在此表達誠摯的感謝。這次的震災，許多日本國民受到嚴重衝擊，我們正努力進行災後重建，希望能儘早恢復。

感謝您今天蒞臨「日本手毬展」。很高興這次能有機會讓台灣民眾欣賞日本文化一手毬，透過財團法人交流協會的協助，使展覽得以順利開展，在此致上謝意。

手毬據說是從約一千兩百年前平安鎌倉時代的貴族階級中盛行的「蹴鞠」（踢球）所使用的皮球演變而來的。

本展覽是以日本各地的手毬及表現出日本花朵或是節慶的手毬作品為主，希望能讓台灣民眾接觸到日本文化；同時也會到三所大學讓學生體驗製作手毬；也預定訪問「玉蘭莊」，與會說日文的長輩們敦睦交流；期盼透過手毬讓台灣與日本兩國文化交流能更加深入，架起日本與台灣友好的橋樑。

感謝大家。

「日本のてまり展・台灣（台北）」

NPO法人日本てまり文化振興協會

理事長 山東昭子 (元參議院副議長)

台灣の皆様こんにちは。

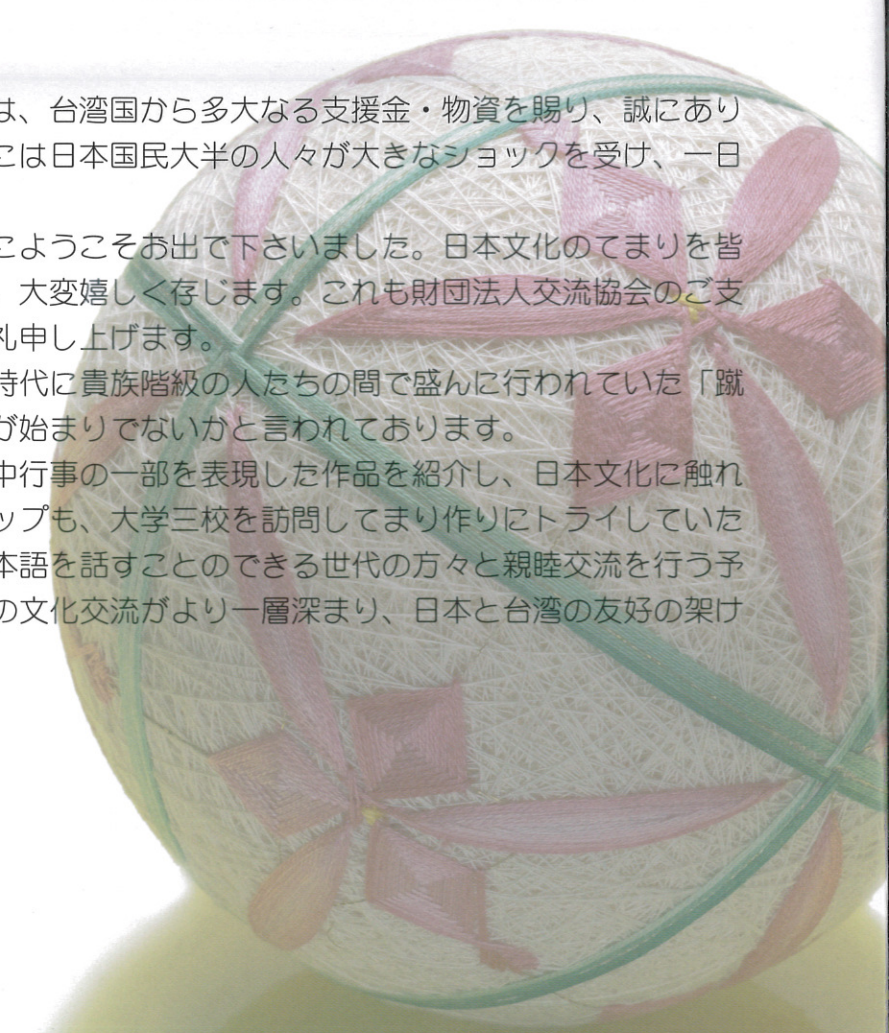
この度、日本で起こった東日本大震災には、台湾国から多大なる支援金・物資を賜り、誠にありがとうございました。この震災には日本国民大半の人々が大きなショックを受け、一日も早い復興にむけて努力しております。

本日は「日本のてまり展・台灣（台北）」によろそお出で下さいました。日本文化のてまりを皆様にご高覧いただく機会をえまして、大変嬉しく存じます。これも財団法人交流協会のご支援とご助成により開催できますことを御礼申し上げます。

てまりはおよそ1200年前、平安、鎌倉時代に貴族階級の人たちの間で盛んに行われていた「蹴鞠」という遊戯に使われていた革のまりが始まりでないかと言われております。

今回は日本各地のてまり・日本の花・年中行事の一部を表現した作品を紹介し、日本文化に触れていただきたいと存じます。ワークショップも、大学三校を訪問してまり作りにトライしていただきます。また「玉蘭莊」を訪問し、日本語を話すことのできる世代の方々と親睦交流を行う予定です。てまりを通じて台灣・日本両国の文化交流がより一層深まり、日本と台灣の友好の架け橋になることを願っております。

ありがとうございました。



〈展出作品〉

主題：日本四季手毬與各地方手毬

〈展出者〉

井上 弘子	齊藤 京	寺沼 恭子	諏訪 壽美子	大塚 典子	三島 美智子
山崎 政子	佐藤 文子	鈴木 理子	石川 栄子	小山田 好子	小林 美穂子
江本 すぎ子	尾久 曠代	阿久津 和子	鎗木 まさ美		

〈各地方手毬〉

能登手毬	(石川：川端 信子)
印南紀之國手毬之會	(和歌山：滝本 宏子)
愛知川瓶手毬	(滋賀：辻 みよ子)
神戸之里和紙手毬	(島根：絹川 ツネノ)
讃岐手毬	(香川：荒木 永子)
柳川手毬保存會	(福岡：緒方 文香)
武蔵野手毬	(東京：佐藤 文子)
相模手毬之會	(神奈川：山本 敏子)
彩之會	(神奈川：菅家 明子)
暫	(千葉：宮野 佳子)

能登てまり	(石川：川端 信子)
いなみ紀の国てまりの会	(和歌山：滝本 宏子)
愛知川びんてまり	(滋賀：辻 みよ子)
かんべの里和紙てまり	(島根：絹川 ツネノ)
讃岐てまり	(香川：荒木 永子)
柳川てまり保存会	(福岡：緒方 文香)
武蔵野てまり	(東京：佐藤 文子)
相模てまりの会	(神奈川：山本 敏子)
彩の会	(神奈川：菅家 明子)
暫	(千葉：宮野 佳子)

〈訪台團員〉

井上 弘子	齊藤 京	寺沼 恭子	諏訪 壽美子	大塚 典子
三島 美智子	山崎 政子	佐藤 文子	鈴木 理子	江本 すぎ子
來栖 琴子	小泉 さよ	鈴木 恵雄		

〈訪問學校及機構〉

東吳大學
輔仁大學
北台灣科學技術學院
玉蘭莊

關於手毬

世界各國特有的傳統文化能跨越時代持續被重視並傳承下去。手毬在日本已有1200年以上的歷史，是來自於7世紀中期日本女性的遊戲，在日本各地保存並傳承具有豐富鄉土色彩的各種手毬。

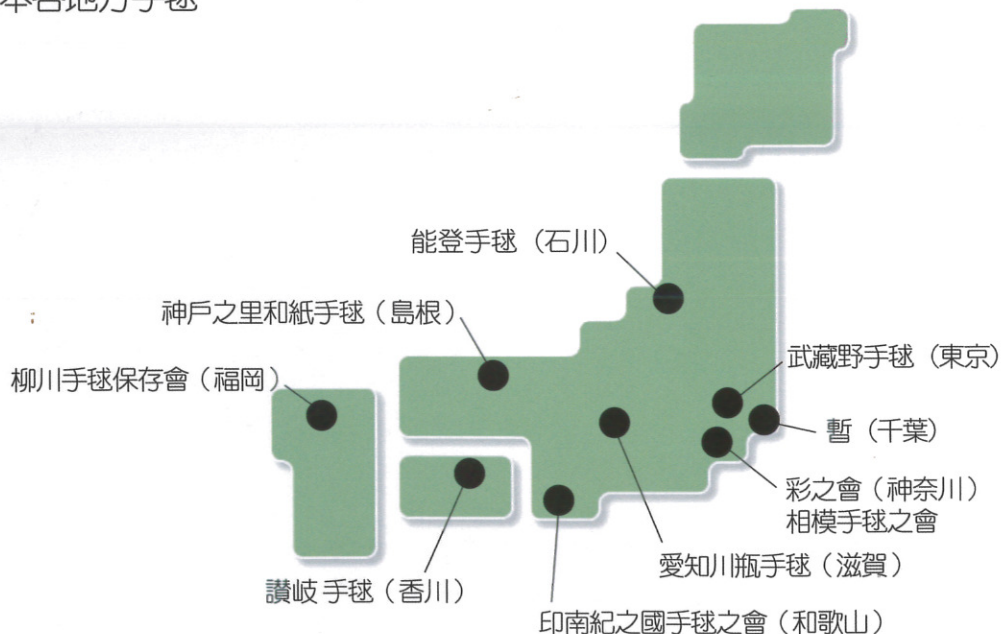
手毬的魅力是以彩色絲線編織出來的華麗世界，幾何圖形散發出一種哲學的氛圍。雖然是細緻的手工藝品，但不論是誰或是身處何處都可以製作手毬。許多的手毬作家不但活化傳統手毬文化，也把其當作藝術作品進行創作，期待他們的作品能廣受歡迎。

てまりについて

世界各国にはそれぞれ独自の伝統文化があり、時代を超えて大切に引き継がれて来ました。てまりは日本で1200年も昔（7世紀中頃）に婦女子の遊びの中から生まれてきました。日本各地には郷土色豊かな様々なてまりが保存・伝承されています。

てまりの魅力はその色系の綾なす華麗な美の世界にあります。その球による幾何学的紋様には哲学的な雰囲気さえ漂わせています。また、細かい手作業ですが誰でも何処でも作ることができます。さらに、伝統的なてまり文化を活かしながら、芸術作品としての創作に取り組む制作者も多く、その活躍も期待されています。

日本各地方手毬



非営利組織 日本手毬文化振興協会

住址：郵便区號 140-0001

日本國東京都品川区北品川1-2-11

電話&傳真：+81-3-3450-6876

網址：<http://temari-npo.jp>

パンフレット制作：井上弘子
来栖琴子